

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公開番号】特開2006-195099(P2006-195099A)

【公開日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-029

【出願番号】特願2005-5744(P2005-5744)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/12 (2006.01)

B 0 1 J 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/12

B 0 1 J 13/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月26日(2007.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水系分散媒中に、樹脂材料を含む分散質が分散した水系分散液を得る工程と、
前記水系分散液を噴霧して、前記水系分散媒を除去するとともに前記水系分散媒が除去されたトナー粒子を絶縁性液体中に分散させる工程と、
を有することを特徴とする液体现像剤の製造方法。

【請求項 2】

前記トナー粒子は、前記樹脂材料の吸水量以上の水分を含む請求項 1 に記載の液体现像剤の製造方法。

【請求項 3】

前記トナー粒子の含水量は、0.3～5.0wt%である請求項 1 または 2 に記載の液体现像剤の製造方法。

【請求項 4】

前記水系分散液は、乳化重合法により製造された微粒子を、前記分散質として含むものである請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の液体现像剤の製造方法。

【請求項 5】

前記水系分散液の噴霧は、前記水系分散液の液滴を間欠的に吐出することにより行う請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の液体现像剤の製造方法。

【請求項 6】

水系分散媒中に、樹脂材料を含む分散質が分散した水系分散液を得る工程と、
前記水系分散液を噴霧して、前記水系分散媒を除去するとともに前記水系分散媒が除去されたトナー粒子を絶縁性液体中に分散させる工程と、
により製造されたことを特徴とする液体现像剤。